

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千里南町第2次住宅建替工事	階数	地上14F
建設地	大阪府豊中市新千里南町2丁目9番	構造	RC造
用途地域	第2種高度地区、法第22条区域、宅	平均居住人員	582 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年10月3日
敷地面積	8,715 m ²	作成者	(株)長谷工コーポレーション 芝智
建築面積	2,069 m ²	確認日	2014年10月9日
延床面積	16,351 m ²	確認者	(株)長谷工コーポレーション 杉尾道朗



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	「緑に囲まれた明るく安らぎのある邸宅」をキーワードに、淡いアースカラーを基調とした落ち着いた外観と、敷地周囲を極力緑化することにより、地域にふさわしい安らぎのある住宅を創出する。	
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・バルコニーを南側、西側に配置し、自然光をできるだけ多く取得できるよう配慮した。	・外壁に防汚性の高い仕上げ材を用い、メンテナンスに配慮した。	敷地内を極力緑化し、緑に囲まれた住環境を創出するとともに、周辺地域へもうおおいを与えるよう配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光パネルを設置することで、自然エネルギーを共用部の電力の一部に利用している。	雨水調整槽の雨水を一部の緑地の散水に利用している。	敷地外へ照明等が不必要に漏れないよう、照明器具や配置に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)千里南町第2次住宅建替え事業		
	建設地	大阪府豊中市新千里南町2丁目9番2		
	用途/区分	集合住宅		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】					
省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
項目	評価内容	スコア	評価		
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体	3.0	3
			住戸・宿泊	3.0	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.5		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.6		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.8		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価		
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3		
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0			
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0			
その他					
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項			
特に配慮した事項					